

令和元年度 児童活動研究部の活動 児童活動リーダーの育成

1 全校朝会での司会，進行，委員会の発表（1年生を迎える会など）



子どもたちが節度のある楽しい学校生活を送れるようにするためにはどうすればよいのかを考え，全校朝会で発表することで，委員会での役割と責任を果たし，自分に自信をつけている。

2 あいさつ運動

毎月生活委員と児童会運営委員が中心となり，実施している。元気で明るいあいさつの手本を高学年が示すことで，低中学年はあこがれをもつ。また，あいさつ運動でのめあてと振り返りを考えることで，子どもたちの主体的な活動を促している。

これは，授業でのめあてと振り返りにもつながっている。



3 代表委員会

毎月，運営委員，学級委員，委員長が集まり，子どもたちが議題を決めて話し合いや報告を行っている。

6月の代表委員会では，各学年の無言清掃の状況について話し合い，代表委員を通じて無言清掃の徹底を呼びかけていた。

また，9月の代表委員会では，秋の浜っ子交流会について提案がなされた。子どもたちが議題を考え，話し合うことで，自己有用感の醸成につながっている。



4 ペア学年での活動 (なかよし遠足, 秋の浜っ子交流会)

4月には、1・6年生がペア学年となり、なかよし遠足を行い、親睦を深めた。さらに10月には、碧南市に新設されたビーチバレーコートにおいて、1・6年、2・4年、3・5年のペア学年で、交流会を行った。

この活動を通して、下級学年は上級学年へのあこがれや尊敬の念をもち、上級学年は自分たちで企画・運営していく中で、責任感を果たし、自己有用感を高めることができている。

